

令和7年度 道徳教育の全体計画

教育基本法 学校教育法
学習指導要領
市町教育委員会の教育目標

各 教 科	
国 語	・思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにする。
社 会	・我が国と郷土を愛するとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。
数 学	・筋道を立てて考え、表現する能力を高める。
理 科	・生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
音 楽	・美しいものや崇高なものを尊重する豊かな情操を養う。
美 術	・美しいものに対する感性を豊かにする。
保健 体育	・粘り強くやり遂げようとする態度やルールを守り、協力する態度を養う。
技術 家庭	・望ましい生活習慣を身に付ける。家族や地域の方への感謝の気持ちを持たせる。
外国語	・外国の文化を知り、国際的視野に立つて互いの文化を尊重する態度を身に付ける。

総合的な学習の時間	
第1学年	・郷土や防災についての調査、発信を通して、自分の生き方を見つめる。
第2学年	・修学旅行、福祉に関する交流を通して、よりよい生き方について考える。
第3学年	・職場体験学習を通して、働くことの意義について考え、自己の生き方を見付ける。

体験活動	
第1学年	・集団生活を通し、集団の一員としての自覚を持たせる。
第2学年	・集団の一員としての役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めさせる。
第3学年	・最高学年としての役割を自覚させ、集団の中で個性を発揮させる。

学校の教育目標
夢を力にたくましく生きる生徒の育成

道徳教育の重点目標

城東中生としての自覚と誇りを持ち、地域社会で活躍できる生徒を育てる

～自他を大切にできる生徒の育成～

- ・思いやりの心を持って人と接することができる。【思いやり・感謝】
- ・集団の一員としての自覚を持ち、自分の責任を最後まで果たすことができる。【より良い集団生活】
- ・弱さや醜さを克服し、気高く生きることにより喜びを見いだすことができる。【よりよく生きる喜び】
- ・社会の一員として、より良い社会の実現に努めることができる。【公共の精神】

各学年の道徳教育の重点目標		
第1学年	第2学年	第3学年
- 自己理解を通して自分を好きになり、夢や希望を持ち、他者と協力し、集団の力を伸ばすことができる生徒を育成する。 - 誰にでも思いやりの心と感謝の気持ちを持って接することができる生徒の育成に努める。	- 集団の一員として、仲間との協力や協調することの大切さを認識させ、好ましい人間関係づくりに努める。 - 集団で協力し合う大切さに気づき、互いに協力しながらより良い学校にしようとする生徒を育成する。	- 他人の立場に立って考え、お互いを尊重しながら、周りに流されず、自らの意志で行動できる生徒の育成に努める。 - 生徒一人ひとりが思いやりの心を持ち、互いに高め合いながら、自らの力で進路を切り開こうとする生徒を育成する。

道徳科の指導方針	
・互いの考えを尊重し、伝え合い、人間としての生き方について、共に深く考え合う。 ・日常生活における道徳教育と内容、時期を関連付け、道徳性を育てる。 ・年間指導計画に基づき、生徒の心身の発達や個に応じた適切な指導を行う。 ・生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り、積極的に励ます個人内評価を行う。 ・保護者や地域に授業を公開し、意見を交流するなどして、地域と共に子どもを育てる。 ・生徒からのアンケートを基に、心に残った教材の整備や指導の方法を蓄積し、道徳科における道徳教育の向上につなげる。	

ボランティア活動	
第1学年	・校内外の奉仕活動に参加し、勤労の大切さを理解する。
第2学年	・進んで校内外の奉仕活動に参加し、地域社会の一員としての自覚を深める。
第3学年	・地域の実態を知り、自ら企画した奉仕活動で社会に貢献する。

教育環境の充実
・ 道徳教育を効果的に進め、人間としての生き方についての自覚を深めるための環境づくりに努める。 ・ 教師と生徒、生徒相互の人間的交流を深める。 ・ 教材ごとの効果的な資料や指導方法を蓄積し、道徳教育の充実を図る。

地域貢献（小さな花の会）
- 校区の祭りや公民館行事に積極的に参加し、地域社会の一員としての自覚を持たせる。（地域ボランティア） - 校内外の清掃活動や挨拶運動を通して、地域の方との人間関係を深める。（朝ボランティア） - 校区の清掃活動に積極的に参加し、生活している地域の環境美化に努める。（城東ボランティア）

共有した教育課題
・夢を持って社会の中で生き生きと働く人を育てる。
生徒の実態
・進んで奉仕活動に取り組む生徒が多い。
・個性を伸ばし、より充実した生き方を求める。
教職員や保護者の願い
・思いやりの心や感謝の気持ちを持って他人に接してほしい。
・かけがえのない命を大切にしたい。

人権・同和教育	
第1学年	・生活の中にある不合理や差別を見抜き、集団で解決していこうとする姿勢・態度を育てる。
第2学年	・差別について学習を深め、正しい判断力を養う中で差別を許さない姿勢・態度を育てる。
第3学年	・差別の現実を正しく認識し、生活との関連を理解し、差別を解消する実践力を育てる。

特別活動
A 学級活動
・望ましい集団活動を通して集団への所属感や連帯感を育てる。 ・主体的に自分の進路を選択する能力を身に付ける。
B 生徒会活動
・学級の一員としての自覚を持ち、自己の責任を果たそうとする態度を育てる。
C 学校行事
・学校行事や奉仕活動に意欲的に取り組み、生徒を育成するとともに、活気のある楽しい学校生活を目指す。

生徒指導
・きまりの意義を知り、自己を見つめ、より充実した学校生活を送る生徒を育成する。

部活動

地域・小学校・高校との連携
・PTAや地域と協力し、生徒の健全育成に努める。 ・自治会や児童館関係諸機関と交流し、社会性の育成を図る。 ・保育園、幼稚園、小学校、高等学校と協力し、ふれ合い行事を進める。